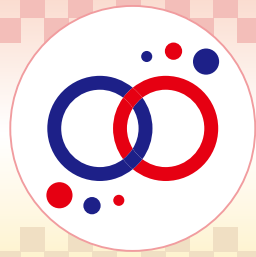


倉敷医療生活協同組合
コープリハビリテーション病院
 〒712-8057 倉敷市水島東千鳥町1-60
 TEL 086-444-3212
 老人保健施設 **老健あかね**
 TEL 086-446-6541



コープリハビリテーション病院・老健あかねだより

経営理念

ミッション (使命)

リハビリテーションで人が孤立せず健やかに暮らす社会をつくる

ビジョン (事業の姿)

人が人を見る最強の技術集団



(図1) 組織の使命は1つでミッションといいます。それを実現したときの組織の姿をビジョンとして描きます。

COHLAS (コーラス)

Coop Healthy Life Assist System



(図2) 20年以上前に作った患者データベースCOHLASの初期画面。リハビリテーション看護を中心に据え改築中です。

【はじめに】
 日本の人口は2008年がピークで働く人はどんどん減少。2025年には高齢者人口も高止まり。この現実医療職・介護職は「社会貢献」と「経営成長」というダブルの要求に応えなければなりません。コロナはその猶予をなくしたと言えます。

【COHLAS…コーラス】
 以上を実現するため20年以上前に作ったソフトが「COHLAS」です(図2)。患者様の病気の歴史と生活の歴史両面を掘り下げ、看護やリハビリが今すべきことは何か?を高い



(図3) 誰もが「生きてて良かった」と合唱できる楽譜「COHLAS」を目指します。COHLASと命名したあと、ドラッカー(著名な社会生態学者)が「オーケストラは理想の組織モデルである」と書いていたのを知り嬉しくなりました。

新年の抱負

「COHLAS」で経営理念実現

コープリハビリテーション病院・老健あかね 管理者 鍛本真一郎

【やさしい】
 いずれCOHLASを職員共有の「楽譜」にします。そして職員の合唱(コーラス)が患者様の人生を助ける病院・老健の目的です。

社会参加を促すのも我々の役割

趣味活動のブログ投稿で新たな人脈を

【社会参加にも着目して】

短時間リハビリテーション(以下・短リハ)では、自宅生活をより安定して過ごすために、身体・認知機能訓練、生活動作訓練等を提供しています。加えて、色々な手段・方法を用いて一人ひとりの社会参加(日常生活での活動、家庭での活動・社会での活動)を実現する事も我々の役目と考えています。

【もっと他者との交流がしたい】

利用者のFさんは歩行障害があり、移動は杖を使用し日常生活ではヘルパー支援を受けながら独居生活を送っていました。短リハ開始により筋力向上や身体のこわばりは軽減しました。そこで次の試みとして医師と協力し、ご本人の目標や今後やってみたい事を面談・評価スケールで確認しました。その結果、「もっと活動範囲を広げたい」「他者との交流を図りたい」との意見が出ました。



ドキドキのブログ投稿で県外から返事

【新たな人脈で社会との繋がりを実感】

すると掲載した写真や記事に県外在住の方やミュージシャンからの反応があり、今では幅広い年齢層の方との交流ができ、社会との繋がりを実感するようになったそうです。加えて、杖移動では困難であった買い物や昔馴染みの方に会うために、セニアカーもレンタルし、さらに活動範囲を広げ意欲的な毎日を過ごされています。

(コープリハビリテーション病院 短時間通所リハビリテーション 作業療法士 林田和美)

コープリハビリテーション病院は、川崎医科大学附属病院と倉敷中央病院との連携病院です。

